

令和6年度第5回理事会（書面会議）の質問・意見等について

【意見】

1 根間監事

本会は会員数の減少などに随伴して赤字経営が常態化しています。このまま推移すると会費値上げを余儀なくされる可能性があります。こうした事態を避けるためには、本年度の会員数を基に予算額を把握したうえで、その範囲内で実施可能な事業を計画していくことが、赤字脱却からの第一歩であると思います。

〔回答〕

ご意見のとおり近年は毎年度赤字決算となっておりまして、このまま続けば本会は運営不能状態になってしまいますので、会費の値上げは改善策の一つだと思います。

では、会費を値上げする場合いくら上げるといいのか？単純に考えると、毎年度約200万円の赤字決算ですので、会員数2千名とすると一人1,000円上げれば会費収集が200万円増となりその年度の赤字は改善されると思います。しかし、値上げに伴う会員減につながると2千名から減った分が赤字となり、根本的な解決策にはならないと考えます。

また、ご意見のとおり、実際の会員数による予算を出し、それに合わせた事業計画を立てるといったことも、赤字を出さない健全運営の一つだと思います。

では、いつの会員数で予算を考えるのかということを見ると、入会申し込みは年度内通じていつでも受け入れていますので、その年度の会員数は年度最終日でないと確定しません。一方で、職域ごとの事業計画及び予算案の検討は、10月・11月に行なわれますので、その年度の会員数は間に合いません。

そうすると、利用する会員数は、例えばその年度の9月末現在で締めたり、前年度会員数を用いたりということになりますが、予算額が先細りしてしまい魅力ある活動が計画できなくなってしまうのではないかと心配します。

そこで、本会の収入の中心となります会員数は、達成可能と思われる数に増やして立て、魅力ある活動を発信して、予算上の会員数を上回る増員を目指したいと考えます。

2 畠山理事

前回の医療部会運営委員にて、経費と人手の手間削減のために「デジタル技術を活用して郵便物を廃止してはどうか」と医療部会員、医療部会運営委員からの意見がありました。若手から提案があり、運営委員からは反対はありませんでした。会費値上げは若手の入会率の更なる低下の懸念があるため、郵送物希望の方のみ経費を徴収して、郵送する提案がありましたので、ご検討いただくと幸いです。

〔回答〕

ご意見のとおり、定期郵送物については、郵送料や印刷費（紙・インク等）もかかりますので、昨年度から回数を減らしているところですが、さらに減らすことができるかを検討していきます。

なお、早期にすべての郵便配送を廃止することが難しい理由としては、次のようなことがありますので、ご理解をいただきたいです。

①今の時代ですので、デジタル化の方法も一つだと思いますが、会員の中にはオ

ンラインでの環境がなかったり、上手に使用できなかつたりといった方がいますので、それらをどう対応するかなどの検討が必要で、そういった方には有料で郵送対応するといったご意見もありますが、有料ならいらぬといったことになり、一層本会との「つながりのライン」が切れてしまい、疎遠から退会になってしまうのではと心配するところです。

②賛助会員さんからのチラシ同封料は大金ではありませんが、郵送代を支えてくれている一つになっています。

3 内林理事

- ・報告事項(1)について： お示しいただいた考えに賛同します。
- ・資料Eについて： 会員に対して電子化の考えに賛同します。一方で、外部への配布やご協力いただいた方々へは製本し郵送いただいても良いかなと考えます。

〔回答〕

資料Eにつきましては、日本栄養士会の栄養士会雑誌の電子化への検討を行っているとの報告資料です。栄養士会雑誌は、毎月発行をしていますのでその額は大きいところです。

本会の会報誌は、現在リニューアルし、さらにバックナンバーをPDFファイルで閲覧可能（会員向け）にしていますので、印刷製本を廃止することは可能です。

ただし、印刷製本したものが強制的に届きますと「何かあるかな？」と一読（一見？）はすると思しますので、全ての会員に情報を届けることができますが、ホームページにアップした場合、どれだけの会員がわざわざそこに見に行くかという課題があると思います。

費用面を考えることも大切ですが、それを作成することの意味も十分考慮して考えたいと思います。

4 深谷理事

- ・資料A・Bについて

愛知県栄養士会においても会員増がなかなかうまくいっていない現状で学生さんにもっとLINEやメールなどに登録してもらうことは賛成だが受ける側の整備がなければ放置してしまうことになりかねない。そこに知恵を出し合う必要があります

- ・資料Eについて

すでに広報委員会でも議題になっているように愛知県栄養士会も配布用以外は電子化にすることを考えて日栄と足並みをそろえたほうがよい

・日栄は会費の値上げを検討しているのかはわからないが愛知県栄養士会でも意見を出し合ったほうがよいと思います。

〔回答〕

○ご意見のとおり、新卒入会者を多くするためには養成校の学生宛て働きかけも必要ですが、要請校が多い愛知県にあってその方法はもちろんですが、学生に対応する組織体制の検討も必要ですので、フレッシュダイエティション事業と併せ検討していきます。

○広報紙の電子化については、意見3に対する回答と同じです。

○会費の値上げについては、意見1に対する回答と同じです。

【質問】

1 根間監事

日栄関連事業で大阪・関西万博でのイベント（「未来の栄養・食のデモンストレーション」）が計画されていますが、その運営等にかかわる本会の負担（人的配置、経費、協力要請等）があるのか教えてください。

〔回答〕

ご質問の大阪・関西万博でのイベント（「未来の栄養・食のデモンストレーション」）への都道府県栄の人的・費用的協力・負担については、すでに提出しています「未来の食材 50 を使用した未来に残すべき和食」の愛知県からの提案メニューの協力以外、特にありません。

このイベントが行われる期間（8/3～8/9：ヘルスケアパビリオン）には、大きく次の3つのイベントが計画されています。

- ①アジア栄養士フォーラム2025（8/5のみ）
- ②未来の栄養・食デモンストレーション
- ③持続可能な“The Future 50Foods(未来の食材 50)”とともに継承プロジェクト

【その他】

1 根間監事

「ADA 学び直しプログラム（講座Ⅰ、Ⅱ）」や「歯科衛生士会・栄養士会合同研修」は有機的な繋がりの中で専門知識を習得する機会として期待しています。

〔回答〕

管理栄養士国家試験に管理栄養士の職業倫理に関する出題があるなど、改めて管理栄養士・栄養士への職業倫理の認識が求められていますので、管理栄養士・栄養士の責務や職能を高めるための場の提供や充実は必須だと考えますので、これらの研修が繋がっていく機会になればと思っています。一層のご理解とご協力をお願いします。